

平成二十三年二月十三日(日)に第四

回 熊本県医療・保健・福祉連携学会が
崇城大学市民ホールで開催されました。
やすらぎの森からは私、牛島が「熊本県
における認知症疾患の連携に関する現状
と取り組み」というテーマで発表させて
いただきました。認知症対応強化型地域
包括支援センターの業務内容や、認知症
専門医療機関等と連携して認知症の人と
その家族を支援した事例を紹介させてい
ただきました。熊本県で一番規模が大き
い学会だったので、とても緊張しまし
たが、センター長の那須に見守られ無事に
発表を終えることができました。



新しい職員

が増えました

三月から地域包
括支援センター
に入職しました
福山登紀子で
す。皆さんの笑
顔に毎日励まし
られています。
何かと行き届か
ないところもあ
るかと思いま
すが、今後ともよ
ろしくお願いし
ます。



療養棟から四月
より地域包括支
援センターに異
動になりました
た、**上村佳子**で
す。地域の方に
早く顔と名前を
覚えていただけ
るように、頑張
りたいと思っ
ています。よろし
くお願いします。



森 綾子です。皆さんにご報告があり
ます。3月19日に無事女の子を
出産しました。しばらくは育児休暇
でお休みしますが、また皆さんにお
会い出来る日を楽しみにしており
ます♪

★編集後記★
東北・関東大震災は多大な被害をもたら
し、暗いニュースばかりが続いていま
した。それでも、日本中でボランティアや募
金活動が自然に生まれ、皆が助け合う場
面に遭遇する度に、『日本に生まれて良か
った』と思えます。三月にやすらぎの森の職
員に赤ちゃんが誕生し、嬉しい事もあり
ました。春は出会いと別れの季節ですが、皆
様との出会いを大切にしながら、平成二十
三年度も頑張りたいと思います。
平野 静子

熊本市中央4地域包括支援センター

やすらぎの森

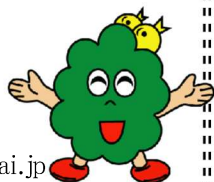
熊本市渡鹿5丁目1番37号

電話:096-375-1412

E-mail: yasuraginomori@kyouninkai.jp

第15号

平成23年4月 http://www.kyouninkai.jp/yasuragi/index.html



笑顔

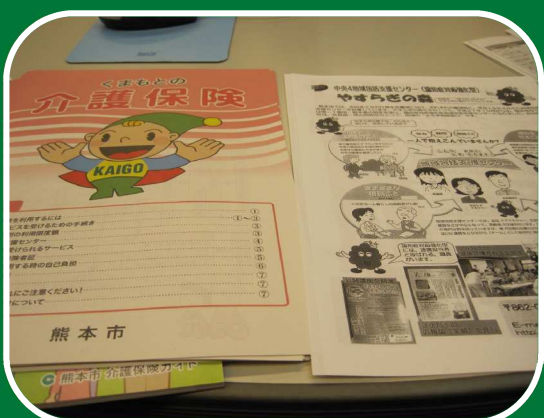
出前講座

の機能や役割を知って頂く事で、支援する際にはより連携が取り易
くなります。今回は、『出前講座』という形で、やすらぎの森と同じ
法人である江南病院に訪問しました。

今回の初回の取り組みという事で、外来や病棟を六箇所に分けて、四
日間で行いました。一箇所に付き五〜十名の主に看護師さんが対象で
した。介護保険での通所サービスや歩行器等のレンタル用品の具体
的な料金はいくらか?、民生委員さんや市役所のケースワーカーさん
等との繋がりはどのようになっているのか?等、積極的な質問があり
ました。

平成二十二年度は同法人での開催でしたが、今後は地域の病院や介
護サービス事業所に向き、今回のような講座を随時開催出来ればと
思います。そして、地域の方に広く『やすらぎの森』を知って頂き、
気軽に相談出来るよう、また支援する際に病院等と連携が図りやす
く、対象者の方にとってよりよい支援となるように活動して行きたい
と思います。

※お気軽にお問い合わせ下さい。



→江南病院外来にて

第四回

地域研修会開催!

(平成二十三年二月十七日)

今回のテーマは「**ゴミの減量で溢れるの?」**」**ゴミ屋敷を作らない為に**と題して行いました。参加者は託麻原・帯山西の両校区の民生委員さんをはじめ社会福祉協議会、老人会の方々、そして居宅介護支援事業所のケアマネジャーやサービス事業所の方々にもご参加いただきました。

前半は、やすらぎの森で関わった事例の紹介を行い、後半のグループワークでは、「**ゴミ屋敷を作らない為に私たちに何が出来るか**」について、話し合いました。そこでは、「**人間関係が希薄なっているため、地域住民が集える場所づくりが必要**」、「**他者から見ればただのゴミでも、本人にとっては大切なもの。むげに処分できない、信頼関係を作って関わることが大切**」**専門職が協働で関わっていく必要がある**」などの意見が出されました。終了後のアンケートでも、「人間関係づくり(相手の立場に立つこと)のコメントを頂いた」等の意見もありました。

おかげ様で、この地域研修会は今年度も予定通り開催することができました。ありがとうございました。



▲グループワークの前に、各自の意見を自由に書き出し・・・



▲たくさんの意見がでました。



▲グループワークスタート!



▼支援者の1人である、熊本市の方も参加して頂き、コメントを頂きました。

認知症事例検討会

平成二十二年十月二十八日に第三回、そして平成二十三年一月二十七日に第四回認知症事例検討会を開催しました。

第二回事例検討会では、前半部分でやすらぎの森の社会福祉士である森綾子より金銭管理が難しくなってきた一人暮らしの高齢者の事例を紹介しました。日常生活に関する支援や様々な社会資源を導入して支援する方法等が提案され活発な議論が行われました。後半部分は、紫藤社会福祉士事務所・社会福祉士の紫藤 千子氏より「認知症高齢者の権利擁護」というテーマで権利擁護制度等に関する講義をしていただきました。認知症の方の権利を護る上で不可欠な内容で、とても勉強になりました。

第四回事例検討会は、水前寺しょうぶ苑・ヘルパーステーション管理者の川野みよ子氏より、一人暮らしの高齢者に対して、水前寺しょうぶ苑のデイサービスとヘルパーステーションが連携して、支援した事例を紹介していただきました。利用者の方への心のケアや生活歴等を念頭に置いたケアを実施され、とても参考になりました。後半部分は、『介護老人保健施設孔子の里の副施設長である松永美根子氏より「認知症の基本的ケアからBPSDに対するケアまで」というテーマで認知症の方へのケアに関する講義をしていただきました。認知症の方へのケアでは、その人の性格や環境、身体機能等を全体的に評価して支援していかなければいけない等といった内容で、とても勉強になりました。



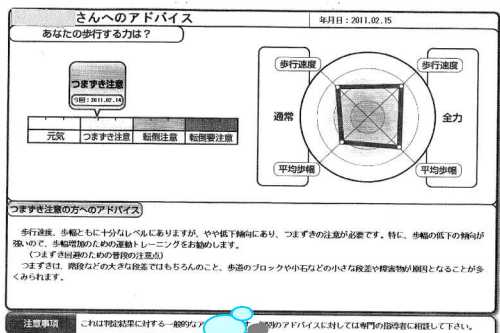
14町内サロン

「歩ビゲーター」で歩行評価

平成二十三年二月十四日に託麻原十四町内サロンに医療、介護用品のミタカさんに来ていただき歩行解析器「歩ビゲーター」という機械を使って皆様の歩行状態を見ていただきました。機械を腰につけ、初めはいつものように歩き、次に歩幅を広く、早く歩いていただき、データを解析するというものです。皆さん検査が終わって、結果を見て喜んでおられる方、思わぬ結果に少々がっかりしている方と様々でした。評価は「元氣」「躓き注意」「転倒注意」「転倒要注意」の四段階です。さすがにサロンに出てきておられる方で「転倒要注意」の方はいらっしゃいませんでした。最後に良い歩き方の指導もありました。



↑歩行解析器をつけて、歩行中!



総合結果と、一人ひとりに合った運動メニュー

